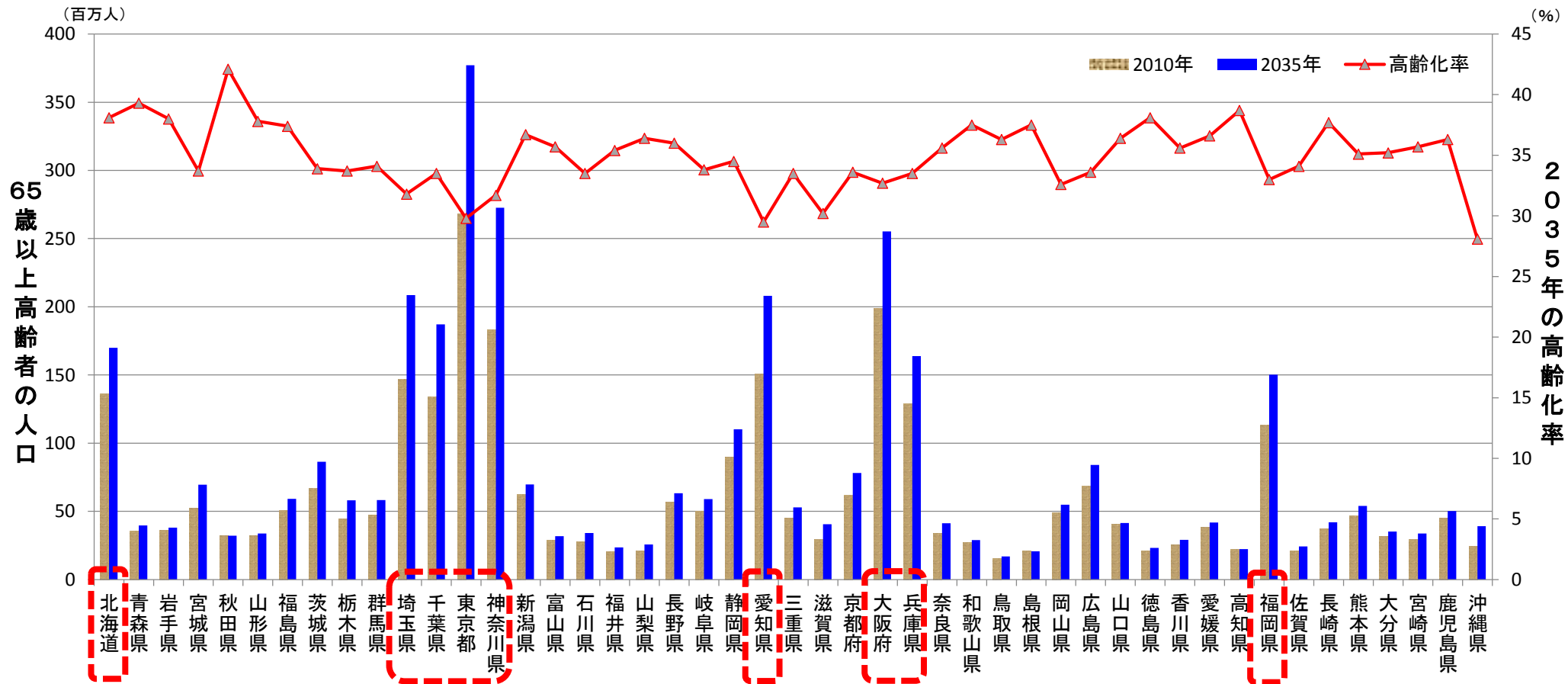


人口減少・高齢化の地域差

○65歳以上高齢者の人口は、2035年に約3,782万人(2010年比プラス858万人)まで増加し、高齢化率は32.8%(2010年は23.0%)に達する。また、大都市圏をもつ都道府県では高齢者が著しく増加する一方で、都道府県によっては、高齢者人口がほぼ横ばいというところもあるなど、地域差が見られる。

【2035年における65歳以上高齢者の人口および高齢化率(推計)】



【出所】2008年総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2013年3月推計)より。